

## 静けさは、ただではない

年 組 番 名前 \_\_\_\_\_

**基礎を固めるクラス** 偏差値のめやす 40～50程度 主な学年のめやす: 高1後半～高2

この紙のゴール: 300～450語の初見の論説文を、段落の働きを追いながら読み、要点を自分のことばで書く / 目安15分(本文+設問)。本文はこの教材のための書き下ろし(初見用)です。

[1] Think of the last time you tried to study and could not. Often the reason was not the work. It was a television in the next room, a conversation through a wall, or a road outside the window. You were not lazy. You were interrupted.

[2] Some people do work well with sound around them. Music helps many students, and a cafe is a good place for some kinds of work. This is not a trick they are playing on themselves. Different tasks need different amounts of quiet, and nobody should be told that their own way is wrong.

[3] But there is a difference between sound you chose and sound you did not. You can turn music off. You cannot turn off the road. The road does not know that you are working. The second kind takes attention away from you without asking, and it takes it again every time you get it back.

[4] Here is the part that is easy to miss. Quiet is not spread out evenly. A student with a room of their own has it. A student who shares a room with two younger brothers, next to a main road, does not. The two of them are given the same homework and the same amount of time.

[5] So quiet is not a skill that some students have and others lack. It is closer to a thing you either have or do not have, like a desk or a bicycle. Calling it concentration hides the fact that somebody was given it.

[6] If you have a quiet hour, use it for the work that needs it most, and notice that you were given it. If you do not, ask where in this building one could be found. That is a question with an answer. It is also a fairer question than asking why you cannot concentrate.

〔語注〕 interrupt=じゃまをする・さえぎる attention=注意・集中 evenly=均等に concentration=集中(力)

本文には自由に書き込んでください。つなぎの語(But / Yet / however)に印をつけ、段落の左に「認める/切り返す/例/主張/提案」とメモすると、大問Iがそのまま解けます。

## 静けさは、ただではない 設問

年 組 番 名前 \_\_\_\_\_

本文（1枚目）を見ながら答えてください。

**大問1 段落の働き** それぞれの段落が、この文章の中でどんな働きをしているかを選ぼう。

(1) [2]段落の働きとして、いちばん合うものは？ 思考・判断・表現 答え（ ） 3点

- ア [1]段落の具体例を、くわしく挙げている
- イ 筆者の主張を、はじめて言い切っている
- ウ 反対の立場にも言い分があることを、いったん認めている
- エ 読者にしてほしいことを、提案している

(2) 筆者が「でも、そうではない」と切り返しはじめるのは、どの段落の最初の文？ 思考・判断・表現 答え 3点  
（ ）

- ア [2]段落
- イ [3]段落
- ウ [4]段落
- エ [5]段落

**大問2 内容の読み取り** 本文の内容に合うものを選ぼう。

(1) 音楽を聞きながら勉強することについて、筆者はどう述べているか。 知識・技能 答え（ ） 3点

- ア 集中しているつもりになっているだけである
- イ 多くの生徒にとって役に立つことがある
- ウ どんな課題でもかならず効果がある
- エ 静かな部屋がない人だけがすることだ

(2) 自分で選んだ音と、そうでない音のちがいは何か。 知識・技能 答え（ ） 3点

- ア 選んでいない音は、ことわりなく注意を持っていく
- イ 選んでいない音のほうが、いつも音が大きい
- ウ 選んだ音は、まったく気にならなくなる
- エ 選んでいない音は、夜にしか起こらない

(3) [4]段落で筆者が指摘しているのはどんなことか。 思考・判断・表現 答え（ ） 3点

- ア 宿題の量を減らすべきだということ
- イ 兄弟のいる生徒のほうがよく勉強すること
- ウ 静かな時間の量が人によってちがうこと
- エ 大きな道路のそばには住むべきでないこと

**大問3 書いて答える** 本文をもとに、日本語で書こう。

(1) 筆者は「静けさ」を何にたとえているか。20字以内で書きなさい。 思考・判断・表現 5点

静けさは、ただではない（基礎） | 解答と採点

解答 選択問題

| 大問1 段落の働き   |   |                                                                                                                                        |
|-------------|---|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (1)         | ウ | Some people do work well with sound around them ... nobody should be told that their own way is wrong. で、音があるほうがよい側の言い分を認めている。エは[6]段落。 |
| (2)         | イ | But there is a difference between sound you chose and sound you did not. が転換点。                                                         |
| 大問2 内容の読み取り |   |                                                                                                                                        |
| (1)         | イ | [2]段落 Music helps many students. アは同じ段落の not a trick they are playing on themselves と食いちがう。                                            |
| (2)         | ア | [3]段落 takes attention away from you without asking.                                                                                    |
| (3)         | ウ | [4]段落 Quiet is not spread out evenly ... the same homework and the same amount of time.                                                |

記述の採点 模範解答と部分点の刻み

刻みは答案を見る前に配点を決めておくための表です。採点しながら基準を作ると、最初の10枚と最後の10枚で線が動きます。

大問3(1) 筆者は「静けさ」を何にたとえているか。20字以内で書きなさい。5点

| 机や自転車のような持ち物。 |                            |
|---------------|----------------------------|
| 配点            | その点を与える条件                  |
| 3点            | 「机」「自転車」など、本文の例が挙がっている     |
| 2点            | 「持っている／与えられるもの」という性質に触れている |

「集中力」と書いた答案は0点。筆者はまさにそれを否定して (not a skill)、持ち物の側に寄せている。



静けさは、ただではない（基礎） | 出題のねらい

出題のねらい 定期テストに移すときの観点マップ

「静かな場所は、持っている人と持っていない人がいる」という、生徒の生活に直接届く論説です。譲歩[2]で「音があったほうが集中できる人もいる」と認めるので、筆者は音楽を否定していない—ここを否定と読むと[5]の主張（静けさは能力ではなく資源だ）が取れません。主張が「がんばれ」ではなく「配り方の問題だ」に着地するのがこの英文の芯で、要約でそこを外す答案が必ず出ます。読んだあとは、学校のどこを静かな場所にできるかを書かせると、そのまま提案型の意見文になります。

| 型          | 観点       | テストでの使い方                  |
|------------|----------|---------------------------|
| 段落の働き      | 思考・判断・表現 | 論の展開の読解。譲歩を否定と読まないかを見る    |
| 転換点の特定     | 思考・判断・表現 | 譲歩から主張への折り返しを1文で指させるか     |
| 内容一致／下線部和訳 | 知識・技能    | 基礎・標準は選択、発展は和訳。抽象名詞と比較の精度 |
| 内容説明（記述）   | 思考・判断・表現 | 「能力ではなく資源」という言い換えができるか    |
| 要約（20語）    | 思考・判断・表現 | 発展版のみ。譲歩・主張・結びの3要素で採点する   |

大問1は3版とも同じ問いです（段落が論の中でどう働いているか）。内容が取れているかではなく、論の運びが見えているかを測ります。

3つの版の使い分け

同じ英文の骨格（段落構成・論の運び）を保ったまま、語数・語彙・答え方を上げてあります（基礎300語=選んで答える＋日本語20字／標準380語=選択肢が英語＋日本語40字×2／発展450語=下線部和訳2・内容説明80字・英語20語要約の全問記述）。①クラスの帯に合わせて選ぶ ②同じクラス内で配り分ける ③基礎→標準→発展と学期をまたいで同じ英文に戻る—の3通りが使えます。③は「同じ話がどこまで読めるようになったか」を生徒自身が測れるので、学期末・学年末の振り返りに向きます。なお大問2以降は正解の記号を版ごとにずらしてあります（配り分けのときの写し合い対策）。大問1だけは3版とも同じ問い・同じ記号です—ここは測る力をそろえるための共通の骨格なので、あえて変えていません。